

第 118 回 電気用品調査委員会
2023 年 11 月 20 日
資料No.8b

C 8147-2-13 : 9999

## まえがき

この **JIS C 8147-2-13** の追補 1 は，産業標準化法に基づき，日本産業標準調査会の審議を経て，経済産業大臣が **JIS C 8147-2-13:2017** を改正した内容だけを示すものである。

**JIS C 8147-2-13:2017** は，この追補 1 の内容の改正がされ，**JIS C 8147-2-13:9999** となる。

ドラフト版\_20231120

# ランプ制御装置—第 2-13 部：直流又は交流電源用 LED モジュール用制御装置の個別要求事項 (追補 1)

Lamp controlgear—Part 2-13: Particular requirements for d.c. or a.c.  
supplied electronic controlgear for LED modules  
(Amendment 1)

## 追補 1 の序文

この追補は、2014 年に第 2 版として発行された IEC 61347-2-13 に対して、2016 年に発行された Amendment 1 を基に、JIS C 8147-2-13:2017 の追補 1 として作成したものである。

JIS C 8147-2-13:2017 を、次のように改正する。

簡条 2（引用規格）の、

**JIS C 8147-1:2017** ランプ制御装置—第 1 部：通則及び安全性要求事項

**注記** 対応国際規格：IEC 61347-1:2007, Lamp controlgear—Part 1: General and safety requirements, Amendment 1:2010 及び Amendment 2:2012 (MOD)

を、次に置き換える。

**JIS C 8147-1** ランプ制御装置—第 1 部：通則及び安全性要求事項

**注記** 対応国際規格：IEC 61347-1, Lamp controlgear—Part 1: General and safety requirements (MOD)

簡条 21（異常状態）の簡条番号を 21A に、細分簡条番号 21.1～21.3 を 21.1A～21.3A に、それぞれ改め、  
簡条 21 を次に置き換える。

## 21 最大動作電圧 ( $U_{out}$ )

通常動作状態及び異常動作状態を含むあらゆる負荷状態において、出力端子の電圧は、制御装置に表示する最大動作電圧 ( $U_{out}$ ) を超えてはならない。

試験は、制御装置に定格電源電圧を供給し、LED モジュールを用いて、最大負荷状態となる負荷にして実施する。LED モジュールの数は、制御装置に表示する電気特性の最大値を考慮して決める。次に、出力端子の電圧が最大値となるように、負荷を調整する。

**注記 1** 負荷は、他の LED モジュール（負荷の種類によって結果が左右されない場合は抵抗）を直列又は並列に接続することによって調整可能である。通常、LED を直列に接続することで電圧は上昇し、ほとんどの場合、無負荷状態で最高電圧に到達する。

適合性は、出力端子間の最大動作電圧及び出力端子と接地との間の最大動作電圧を測定することによって判定する。

**注記 2** 一次回路と二次回路との間が絶縁されている制御装置の場合、出力端子と接地との間の電圧の測定は必要とされていない。

ドラフト版\_20231120

附属書 JB（参考）（JIS と対応国際規格との対比表）の“21 異常状態”の行を，次の行に置き換える。

21A 異常状態	異常状態で動作させたときの安全性を規定。		—	—	追加	制御装置の異常状態で動作させたときの安全性を規定。	我が国で普及している代替方法を追加した。
----------	----------------------	--	---	---	----	---------------------------	----------------------

ドラフト版\_20231120